



つくば市議会だより

SUKUBA-28

12月定例会 No.160

令和2年(2020年)2月1日発行
発行：つくば市議会
編集：議会報編集委員会

・一般質問	P 2
・議案審議	P 7
・委員会審査	P 8
・議決結果・議決賛否	P 9
・特集	P10

議会をもっと知りたくなる情報紙



令和2年1月10日、ホテルグランド東雲において、賀詞交歓会が開催されました。
つくば市議会議員も参加し、研究機関・企業・各種団体など約550人と交流・連携を図りました。

議会報告会を開催

令和元年11月10日につくば市役所コミュニティ棟1階会議室において、午後1時30分から開催し、24名の市民の皆様にご参加いただきました。

各委員会から審査内容などについて報告し、参加者からのご質問を受け、議員が回答させていただきました。また、意見交換会では、各委員会に分かれ、市政に関する内容・課題・提案など多くの意見が出されました。



12月定例会ハイライト

一般質問

21名の議員が白熱の議論を展開

議案審議

令和元年度一般会計補正予算、つくば市地酒等による乾杯の推進に関する条例など30件の議案を審議

3月定例会開催予定

- 2月14日(金) 開会・議案上程
- 27日(木) 会派代表質問
- 28日(金) 一般質問
- 3月2日(月) 一般質問
- 3日(火) 一般質問・議案等総括質疑・予算特別委員会
- 5日(木) 総務委員会・文教福祉委員会・予算特別委員会分科会
- 6日(金) 市民経済委員会・都市建設委員会・予算特別委員会分科会
- 16日(月) 予算特別委員会
- 19日(木) 討論・採決・閉会



おおくぼ 勝弘 議員

つくば市政クラブ

県の予算編成に対する要望書について

質疑 毎年、予算編成にあたり、県に要望書を提出しており、令和2年度分では36項目を要望しました。その中のスポーツ振興に関しては、全国大会のできるスポーツ施設整備を要望していますが、①どの程度の施設規模を想定しているのか、②候補地はどこか、③県への全面的整備要望か、伺います。

すことができるスポーツ施設を考えています。

②候補地については、具体的な考えはありませんが、広域的な施設であるため、県全体のバランスを見て、県に判断していただきたいと考えています。

③施設の整備は、県が主体で整備すべきと考えています。

今後、県で計画が具体化され、事業を進めていく段階で、市との協議の場が設けられた場合、費用負担などの具体的な検討が

始まるものと認識していますので、現時点では、要望書を継続して提出することにより、市の要望を県に伝えていきます。

要望 毎年、要望書を県に提出しているだけで、具体的に詰めていかないと目標の達成ができませんと思うので、しっかりと推進することを強く要望します。

このほか、高工ネ研南側未利用地の活用、認知症対策・介護予防対策、筑波地区・荳崎地区路線バス運行実証実験、市役所コミュニティ棟の活用について質問しました。



しおた ひさし 塩田 尚 議員

山中八策の会

教諭間のいじめ対策

質疑 神戸市での前代未聞の教諭間のいじめ問題。4人の教諭が4人の同僚教諭をありとあらゆる方法でいじめていたことが発覚。奈良県大和郡山市でも教諭4人がいじめとパワハラを訴え、学校を休んでいます。子ども達を教え導く立場の先生がいじめを繰り返し、教育委員会にも報告せず、学校側は十分な調査もしませんでした。このように、教育局が強い指導力

を発揮し、健全な教育行政を築くべきと考えますが、市の対応を伺います。

答弁 学校は、教師、教員同士がお互いに信頼し助け合える場であることが大事だと考えています。そのためには、校長の学校マネジメント力が重要であるとの認識から、研修会を開催しています。

各学校では、コンプライアンス委員会などを設け、コンプライアンス研修を継続実施すると

ともに、セルフチェックを定期的に行っています。

また、市の教育委員会では、教員によるいじめなどがあった場合の相談窓口を開設しています。相談があった場合、教育委員会と学校とが連携し状況を調査し、対応策を検討しています。そして、いじめが確認された場合は、加害教員へ指導するとともに、県教育委員会に報告し、状況に応じた措置や処分がなされることになっています。いじめを受けた教師には、個々の状況に応じ、十分に配慮して対応しています。

このほか、度重なる台風に対する災害対策について質問しました。



すずき ふじお 鈴木 富士雄 議員

つくば市政クラブ

高工ネ研南側未利用地について

質疑 当該地については売却予定とのことですが、売却価格が40億円の場合、差額28億円となります。財政調整基金からの返済は可能なのか、将来の財源には影響を及ぼさないのか伺います。

却せず市が土地を取得する場合は、基金だけでは賄いきれない金額になります。

質疑 差額28億円の場合、市民1人当たりの負担は。

答弁 令和元年11月1日現在の常住人口で割ると、市民1人当たり約1万1600円です。

質疑 市民1人当たりの負担が約1万1600円となることについて、どう思いますか。

答弁 一括売却しない場合、公社の返済期日までに元金と利

子の合計約70億円を用意せざるを得ず、市民1人当たり約2万9千円の負担となります。このほかに、公共施設を整備するとなれば、その事業費を加えた額を市民に負担をしていただくこととなります。市民負担を少なくしていくことが重要と思っています。

要望 例えば、道の駅、多目的広場や大型スポーツ施設などを整備し、併用して防災拠点、避難施設としての公的利用を行い、北部地区の振興、発展の核となるよう、よろしく願います。

このほか、農業政策、筑波芝の需要拡大と活用方法について質問しました。



こくぼ たかし 小久保 貴史 議員

自民つくばクラブ・新しい風

桜川堤防強化や水門管理について

質疑 桜川の河川改修計画の進捗状況と橋梁強化について伺います。

答弁 土浦市内の霞ヶ浦河口からつくば市を経て桜川市内までの改修を県が進めています。これまで、河口からつくばへリポートまでの土浦工区が暫定計画により概成しています。つくばへリポート付近から筑西市にある筑真橋までの筑波工区は、沿川の集落を洪水から守ることを優先とした河川改修が進めら

れてきました。現在、つくばへリポート付近から上流の田土部堰までの河川改修に必要な用地を取得しつつ、流下能力を高めるため、樹木伐採や河道掘削が重点的に進められています。

市が管理する神明橋、天神橋、中貫橋、小田橋の4橋は、橋梁長寿命化修繕計画に基づき点検し、その結果を踏まえ、修繕工事を実施しています。そのうち、中貫橋については護岸改修工事を来年度実施する予定です。

質疑 樋管の管理体制と、管理者が不明である樋管の今後の管理体制について伺います。

答弁 市内の樋管29力所のうち4力所は土地改良区が管理しています。残り25力所は管理者が確認できませんでした。河川管理者の土浦土木事務所への確認では、樋管の管理については各関係機関との調整を図りつつ、管理体制の構築に努めていくとのことでした。

このほか、台風による被害内容と対応状況、自動車などの盗難対策、土地改良区賦課金について質問しました。



小野 泰宏 議員

公明党

市内企業の課題解決のために産業振興計画の作成を

質疑 産業振興計画について、現在策定が進められています。何よりも社会状況の変化に対応した実効性ある計画の策定を望みますが、実施したアンケートの結果から見えてきた市の課題について、どのような内容か伺います。

建設業・製造業では、施設や設備の新設・改修などハード面での支援を望んでいます。商業・サービス業では、宣伝PR・情報発信についての支援を求める声が多くなっています。

答弁 いずれの業種においても、事業者が抱えている課題、市に対して希望する施策の両面で雇用を含めた人材の確保が上位に挙げられています。

質疑 それらを受けて市は、その課題解決の道筋をどのように考えているのか、課題解決との関係でもう少し伺います。

答弁 今後、戦略策定の中で懇話会のメンバーの助言・提言を受けながら具体的な支援策を

検討していきます。特に事業者アンケートでも顕在化した人材確保など、事業者が抱える課題に対応するには、生の声を聞くことが大変重要だと考えていますので、今後、企業訪問を行い、事業者に寄り添った支援ができるよう施策に反映させていきたいです。

要望 私が、昨年に市内の小企業に訪問活動をした際にも同様の課題でした。実効性の高い計画を望みます。

このほか、つくば市戦略プラン、RPAとAIの導入、つくば市における今秋の台風災害の状況と今後の対策について質問しました。



橋本 佳子 議員

日本共産党

国民健康保険、子どもの均等割減免を

質疑 国は高い国民健康保険税を抑えるため、繰り入れを赤字と決めつけ支援金を削減することを決めました。知事会、市長会はこの考え方に警鐘を鳴らし、均等割の廃止など1兆円の財政支援を求めています。特に子どもの均等割は子どもの貧困・子育て支援に逆行するものです。仮に、独自に均等割の減免を行う場合、子どもの人数と費用はどのぐらいになりますか。

市健康保険に加入している18歳以下の被保険者は、約4650人であり、現行の均等割額で計算すると、子どもの均等割の全額免除を実施する場合には約1億4100万円必要となります。この金額は仮定の計算として、現行の均等割額で子どもの均等割の全額免除を実施する場合にはということですので、どういった制度によるか、ほかの自治体も含めて、さまざまなバリエーションがあるものと考えていま

答弁 11月1日現在、つくば

示す都市計画道路整備プログラムの策定を進めています。これに基づき、確実な整備を進行するために、組織内のセクションは既にありますが、庁内の体制も含め、強化をしながら、都市計画道路の早期完成を目指していきたく考えています。



五頭 泰誠 議員

自民つくばクラブ・新しい風

住民ニーズに素早く応えるために庁内の連携を

質疑 市の都市計画決定がされている道路の現状に関して、特に未整備路線のうち、市が最優先で取り組まなければならぬ路線はどの路線ですか。

質疑 妻木金田線は二十数年にわたり整備が進んでおらず、地域に市の取り組み状況を知らせるため、説明会を開催すべきと考えます。また、整備をしっかりと進めるため、行政内の強化策をどのように考えていますか。

答弁 TX沿線開発に関連する妻木金田線、小白碓島線、島名原新田線、上河原崎東環状線、上河原崎西環状線の5つの路線は、区画整理事業に伴い、地区内が整備されることから、地区外についても優先的な整備が望まれると認識していま

答弁 都市計画道路の整備推進については、今年度、未事業化路線、TX沿線の開発に関連する路線などについて、整備の優先度、事業の着手時期などを

示す都市計画道路整備プログラムの策定を進めています。これに基づき、確実な整備を進行するために、組織内のセクションは既にありますが、庁内の体制も含め、強化をしながら、都市計画道路の早期完成を目指していきたく考えています。

意見 都市計画道路に人々は期待しています。また、桜地区で計画がなかなか進まないことへの不安が増殖し、相当ストレスが溜まっていることも事実です。このことについて、認識いただければと思います。



山中 真弓 議員

日本共産党

新設校の学区説明会は早い段階で丁寧な実施を

質疑 TX沿線地域での新設校開校にあたり、市の対応の大きな反省点は、児童生徒数の急増が予想されながらも開校直前に越境を認めたこと、不動産業者などに地域により学区が変わる可能性がある旨を顧客に説明するよう指導してこなかったこととです。学区の選定と住民への説明、不動産業者などへの対応について伺います。

には、地域住民からの意見を参考に、教育局で学区の原案を作成します。新設校に係る保護者、区長、学校長などを委員とした学区審議会を開催し、その原案の審議をします。その後、審議会での意見を参考に学区案を作成し、保護者および地域住民を対象とした住民説明会で公表し、意見をいただき、それらの意見を踏まえ調整し、教育委員会決定します。不動産業界に指導はできませんが、関係機関を通

答弁 学区の決定について、新設校の建設に伴う学区の設定

このほか、公立幼稚園の3年保育、民間保育所への公私間格差是正の運営費補助復活、防災対策(防災無線・避難所)について質問しました。



提案 県の運営協議会の結果を受け、子育て世帯の均等割の軽減に活用することを提案します。

このほか、小規模校の活用、適応指導教室、農業委員会からの要望書に対する対応について質問しました。



金子 和雄 議員

新社会党

つくば子どもの青い羽根基金について

子どもの未来を支援するための新しい仕組みとして、つくば子どもの青い羽根基金」を創設しました。寄付金はNPOなどが運営する学習支援事業や「子ども食堂」を開く団体への補助、経済的に困難を抱える家庭の中学3年生を対象にした学習塾代助成といった子どもの未来支援事業に充当しています。寄付は全国の個人や企業、団体が可能で、寄付した人には、青い羽根を贈るとしています。これまででの支援の取り組みについて、伺います。

学習会は、平成29年10月に2カ所で事業を開始し、昨年度は3カ所、今年度は13カ所に実施箇所を拡大しています。食堂は、昨年11月の補助金創設時は2カ所でしたが、現在は6カ所に増えています。このほか、学習塾代助成として、経済的に困難を抱える世帯の9年生に対し、学習塾の利用にかかる経費を助成するなどの支援を行っています。

子どもの未来支援事業としては、つくば子どもの青い羽根学習会という名称で、経済的に困難を抱える世帯の4年生から9年生を対象に、学校の復習や宿題の習慣づけなどを事業者と協働で行っています。また、みんなの食堂として、子どもからお年寄りまでの居場所を運営する団体などを支援しています。

このほか、ジェネリック医薬品、市職員の病気・療養の休暇、災害対策について質問しました。



みんなの食堂のパンフレット



滝口 隆一 議員

日本共産党

ごみ袋を環境配慮型に

市は審議会などで、ペットボトルの使用を止めました。一歩前進です。植物由来のプラスチックを家庭用の指定ごみ袋を採用する自治体が増えてきています。つくば市合併前の桜村では指定ごみ袋は地中に埋めれば土にかえるごみ袋を使用していたことを覚えていますが、その材質、価格など資料があれば教えてください。また、このごみ袋の使用を中止したのはいつ頃ですか。

環境配慮型のごみ袋については、旧桜村で使用していたようですが、合併前のことで資料が残っており、旧桜村役場出身の職員に聞き取りも行いましたが、詳細はわからない状況です。市はごみ袋を環境配慮型に切り替えることを考えませんか。

市指定のごみ袋は、焼却した際にダイオキシンが出ないよう、高密度ポリエチレン製



現在のごみ袋

生物由来などの環境配慮型ごみ袋への転換については、袋の強度や製造コストといった課題があることから、今後、導入自治体の事例や製造事業者への聞き取りなど調査研究をしていきます。

このほか、公契約条例、市職員の65歳までの再任用について質問しました。



木村 清隆 議員

つくば政清会

上郷高等学校跡地を「陸上競技場候補地」とした取り組みについて

多くの市民が待望している陸上競技場に関して伺います。①市から県への予算編成に対し、スポーツ施設整備を要望された具体的な内容、②県へ要望している施設と上郷高等学校跡地に整備を検討している施設との関係、③上郷高等学校跡地への陸上競技場整備に向けた市長の思い。

上で広さや観客数などの条件を十分満たすことができる施設の整備を要望しています。

①整備する場所や施設の種類の特定していませんが、規模は全国大会などを開催する

②両施設は、それぞれ別の施設と考えています。上郷高校跡地に整備検討中の陸上競技場は、つくばスポーツ推進計画にも位置づけられ、市民のスポーツ環境充実のため、市民レベルの競技会などが開催できる施設です。一方、県に要望している施設は、県南地域の拠点となる全国的なスポーツ競技や競技大会



高野 文男 議員

創生クラブ はがくれ

危機管理について

平時の「リスク管理」として、「土砂災害警戒区域」にある荒れた森林の災害予防対策について伺います。

伐倒スペースの確保が困難な場合や重機が必要とされる場合が多く、身近なみどり整備推進事業の中で整備可能な範囲で対応しています。

浸水想定が記載されていない森の里団地を含めた「牛久沼周辺のハザードマップ」の見直しと災害予防対策について伺います。

マップ見直しについては、牛久沼、谷田川、西谷田川を管理する県に対し、浸水想定シミュレーションを行うことを引き続きお願いしていきます。また、雨水対策については、今後も施設の維持管理を十分に行い、ポンプの更新や未設置箇所

身近なみどり整備推進事業での対応が困難な森林整備は県と協議しつつ事業実施を検討していきます。

このほか、災害時の「初動対応」と「避難所」の場所・物人について質問しました。

高齢者向けの防災情報取得のための携帯電話操作講習会や非常用物品の啓発に関し、今後の対応について伺います。

携帯電話メールやアプリは有効なツールですので、防災教室の講習内容の一部とするなど検討していきます。また、非常用物品については、広報11月号でもお知らせしましたが、出前講座や今後の広報紙などでも引き続き啓発していきたいと考えています。

このほか、小中学校における健康支援、アグリロード東西延伸について質問しました。

やプロスポーツの試合ができる施設を考えています。

③既にある廃校を調査した結果、上郷高校跡地が最も優位性が高くなりました。5月以降、全員協議会や地域での説明会などで説明をしました。私の印象では非常に高い期待を地域の皆様は持っていると感じています。9月に設置された高エネ研南側未利用地に関する調査特別委員会での議論を注視しつつ事業を進めていきたいと考えています。

上郷高等学校跡地に陸上競技場の整備を進めるよう要望します。



浜中 勝美 議員

公明党

高齢者対策について

質疑 急速な少子高齢化、人口減少が進む中で、2つの大きな山があり、一つは、団塊の世代が全員75歳以上になる2025年問題であり、もう一つが団塊世代に次いで人口ボリュームの大きい団塊ジュニア世代が高齢者となっていく2040年問題と言われています。高齢者向け施策は人数が一番多くなる年度に合わせて進めなければ間に合わないと思います。人生100年時代、2040年問題に向けての現状と今後の取り組み

について伺います。①健康寿命の延伸への取り組み、②フレイル健診の取り組み、③就労支援対策について。

答弁 ①高齢者が住みなれた地域でいつまでも健康な生活を送れるよう介護予防事業(出前体操教室など)や健康づくり事業(健康診査など)を推進しています。②来年度から75歳以上の高齢者に対しては、健診の際に新しい質問表を用いて心身の状況をチェックするとともに、低栄養防止や重症化予防などのフレイル対策を実施することとされています。また、市ではすでに実施している事業もあり、今年度から県の栄養士会に委託し、後期高齢者に対して、市内2カ所で低栄養防止事業を行っています。

③50歳以上の方とシニアのための就職セミナーを県と共催で開催します。また、市の事業ではありませんが、土浦ハローワークで生涯現役支援窓口を設置し、高齢者就労の支援を強化しています。



このほか、ハラスメント対策について質問しました。



宇野 信子 議員

つくば・市民ネットワーク

上下水道審議会を常設し、水道事業の見える化を

質疑 水道料金を改定して1年半が経過しました。料金改定目的であった未整備地区への整備や長寿命化の進捗状況、料金収入や水需要の推移などはどうなっていますか。

場において、今年度から3年計画で、電気設備などの更新事業に着手しました。水量については、T×沿線開発地区を中心とした人口の増加に伴い、生活用水の順調な伸びが見られます。

また、業務用水についても、例年並みに推移しており、この結果、平成30年度の料金収入については、推計値よりも約2億3500万円の増収となっています。

質疑 水道事業の現状、課題や長期的に何を指すかを市民

に「見える化」するために、水道ビジョンの策定と、上下水道審議会を必要時のみに設置するのではなく、常設して年1回以上開催することが効果的と考えていますが、市長の見解を伺います。

答弁 年度ごとのチェックは、重要であると思っています。また、決算の際、議会の中で報告をしているので、一定程度、その役割は果たせていると思います。しかし、今後は、議会での報告が足りていないかという点について検討していきたいと思っています。

このほか、下水道事業の公営企業会計化について質問しました。



北口 ひとみ 議員

つくば・市民ネットワーク

ソーラーシェアリング、ガイドライン強化を!

質疑 水守の45haのソーラーシェアリングに関して平成29年から令和元年までのパネル下部における作物の収量について伺います。

答弁 平成29年は、アシタバが200kg、平成30年は、ドクダミが203kg、小麦が49kg、令和元年は、ドクダミが約72kg、小麦が約169kgでした。

質疑 つくば市ソーラーシェアリングガイドラインの強化の経緯を伺います。

答弁 ガイドラインについては、平成30年3月14日に施行し、同年10月12日に、日本での栽培実績がない作物については1年間の実証栽培を行うことなどを追記し、改正しました。

質疑 状況を踏まえ、最大面積要件を定めるたり、広大な農地で

平成30年4月12日には、県南地域で栽培実績がない作物は1年間の実証栽培を行うこと、事業総面積が1万平方メートル以上の大規模の場合には事前協議をすることなどを追記し、改正しました。

質疑 状況を踏まえ、最大面積要件を定めるたり、広大な農地で

ソーラーシェアリングをする場合は、パネルを光のコントロール可能な形状に限定するなどガイドラインの強化が必要と考えますが見解を伺います。

答弁 作物にも、光を好むもの好まないものがあります。それによって変更は必要になってくるかと思いますが、今後も必要性に応じて追記など改正を検討していきたいと考えています。



小森谷 佐弥香 議員

つくば・市民ネットワーク

余命5年の最終処分場について

質疑 県内他市で委託処理をしているごみの最終処分場があと5年ではいっばいになってしまおうのですが、分別できるはずのごみなどのくらい燃やせるごみに混入しているか伺います。

答弁 今年度実施した組成分析の結果では、家庭系ごみ中の資源化可能な紙類は14%、プラスチック類5.7%。事業系ごみ中の資源化可能な紙類は35%、プラスチック類は8.4%となっています。

質疑 3Rのうちリデュース(ごみそのものを減らす)が最大の優先順位だと思っています。検査装置もそうですし、あるいは事業者への徹底、そして市民への説明も含め、本当に市を挙げて取り組んでいく必要があると思います。今、SDGsのプロジェクトの中で、パートナーシップ制度を作り、SDGsパートナーに多くの市民の皆様になっていただいています。こういう皆さんと一緒に本気で減量していくためにどういうことができるか、循環型の社会を作るためにどうことができるか、ということもきちんと議論していきたいと思っています。

答弁 3Rのうちリデュース(ごみそのものを減らす)が最大の優先順位だと思っています。検査

このほか、香害に代表される化学物質過敏症への対応、ヒトにも環境にもより安全で持続可能な洗剤の使用について質問しました。



みながわ ゆきえ
皆川 幸枝 議員

つくば・市民ネットワーク

新たに定められる「つくば市教育大綱」について

質疑 教育大綱の趣旨および今後の策定スケジュールについて伺います。

クコメントを行い、市民の意見を踏まえた上で3月末に公表する予定です。

答弁 「一人一人が幸せな人生を送ること」を最上位目標に掲げ、「問いから始める学び」を目指します。さらに、社会全体で学びの場を支えながら、持続可能なよりよい社会を目指すための教育を実行していきます。

質疑 教育大綱について教育長の感想は。

答弁 つくば市は世界のあしたの教育のトップランナーになると言い続けていますが、それが実際に可能になる内容となっています。

策定スケジュールについては、市民を対象とした説明会を2回実施します。その後、パブリック

質疑 先生方一人一人に教育大綱の理念について知っていただき、議論し現場の状況に合わせた

せて実行してもらおうことが肝要と考えますが、今後どのように進めて行くのか伺います。

答弁 教諭一人一人がしっかりと議論し、学校でこの大綱についてどう考え、指導や教育をどう変えていくのか、自分の学校なりの施策をしっかりと考えていくという方向にしたいと考えています。



このほか、学校給食における地産地消ガイドライン、台風・豪雨時の避難について質問しました。



くろだ けんすけ
黒田 健祐 議員

自民つくばクラブ・新しい風

交通混雑について

質疑 つくば市は各所、時間帯において交通混雑が増えていると感じます。都市交通の快適性に関心を払う必要があり、今後のまちづくりの観点で交通混雑の対策について伺います。

滞の解消に向けて、必要な対策の検討を行います。

答弁 市内の交通混雑については、今年度から2力年で実施する都市計画道路整備プログラム策定支援業務において、未整備区間のある路線と事業化に至っていない路線の整備優先度の検討と市内の局所的な交通渋

今年度は、都市計画道路の計画的な整備推進により、円滑な都市交通や良好な都市形成に寄与するよう、TX沿線開発の事業進捗状況、人口の定住状況に応じた優先度の検討を行います。

来年度は、交通量推計などの結果をもとに、対策が必要な箇所を抽出し、交通量調査を実施して、交通状況の把握と渋滞要因について分析します。その結



果から、必要な対策を検討する予定です。
このほか、就職氷河期世代支援について質問しました。



きむら しゅうすけ
木村 修寿 議員

つくば政清会

再犯防止推進計画について

質疑 地方公共団体においても、地域の状況に応じた再犯防止施策を策定し、実施する責務が規定されています。これに対する市の見解を伺います。

計画を立案し、地方再犯防止推進計画を定める努力義務が規定されています。

答弁 罪を犯した方の円滑な社会復帰の促進を目的とし再犯の防止等の推進に関する法律が平成28年12月に公布、施行され、同法に基づき、国においては、平成29年12月15日に再犯防止推進計画が閣議決定されました。

国が策定した再犯防止推進計画の重点課題について伺います。

答弁 国が策定した再犯防止推進計画の重点課題について伺います。

国が策定した再犯防止推進計画の重点課題について伺います。

地方公共団体においても、国の

計画に掲げられている

重点課題は、就労・住居の確保、保健医療・福祉サービスの利用の促進、学校等と連携した修学支援、罪を犯した方の特性に応じた効果的な指導、民間協力者の活動促進、広報啓発活動の推進、地方公共団体との連携強化、関係機関の人的・物的体制の整備の7つです。

要望 多様化が進む社会において孤立することなく、あらゆる者とともに歩む「誰一人取り残さない」社会実現に向け、保護司会・更生保護女性会などの意見を伺い、計画策定に向けて検討をお願いいたします。

このほか、消防団員の確保・詰所の整備計画などについて質問しました。



つかもと ようじ
塚本 洋二 議員

つくば市政クラブ

農業振興について

質疑 これまでもさまざまな対応策をされてきましたが、耕作放棄地や荒廃農地の状況と利活用について、①ここ数年市内全体の面積と各地区の状況、②利活用につながった活用事例のうち代表的な事例について伺います。

平成30年度が約528haです。

答弁 ①毎年実施している荒廃農地の発生・解消状況に関する調査で把握している市内の荒廃農地は、平成28年度が約234ha、平成29年度が約393ha、

平成30年度が約528haです。地区別では、平成30年度で大穂地区が約49ha、豊里地区が約25ha、谷田部地区が約151ha、桜地区が約93ha、筑波地区が約140ha、茎崎地区が約70haで、平成28年度以降増加しています。

②平成23年から農地再生チャレンジ事業に取り組んでおり、荒廃農地を再生した上でジャガイモを作付し、市民を対象に収穫イベントを実施しています。

このほか、学校給食センター業務委託について質問しました。





山本 美和 議員

公明党

不登校の子の学ぶ権利はどうなる？

不登校は増えており、個々の状況に応じた対応が急がれます。10月に通知された文科省の考えには、多様な教育機会の確保とさまざまな団体などを含めた連携について言及されました。市の現状について伺います。

不登校の児童生徒数は、平成29年度は、小学生が81人、中学生が184人、平成30年度は、小学生が111人、中学生が219人となっております。増加傾向となっております。また、主な要因は、「不

議案審議

『令和元年度つくば市一般会計補正予算(第3号)』 原案可決

福祉支援センターやたばと福祉支援センターきざぎの地域活動支援センター業務委託の事業者の選定方法について

プロポーザル方式で公募し、業務の実施方針や実施体制などに関して、審査や評価を行い、候補者を選定する。

焼却残渣最終処分業務委託に関して、米沢市の業者に委託する経緯について

現在、使用している民間最終処分場の使用可能年数があと

状況に応じた支援を行う仕組み、体制づくりについて伺います。

養護教諭には忙しい中、きちんと対応していただいている状況がありますが、それでも対応しきれない部分もあり、現在、配置している学校生活サポートを活用しながら対応していますが、人員配置が十分ではないと苦慮している状況です。今後は、このような状況を踏まえ方法を検討していきたいと思えます。

このほか、青少年の居場所づくり、つくば市まちづくりアドバイザーの役割・採用経緯・契約・効果について質問しました。

5年と聞いており、新たに処分場を確保する必要があるため、試行的に処分を米沢市にある民間処分場に委託するもので今後30年は処分が可能である。

予防接種に要する経費の子宮頸がんワクチン接種委託料の増額理由と財源について

4月から7月で当初予算で想定した回数よりも多い43回の接種があり、予算が不足したことによる増額で、財源については、不交付団体であるため、すべて一般財源となっている。

令和元年度つくば芸術文化事業費負担の事業方針・内容について

市民に優れた芸術文化作品に触れる機会を提供するため、

市内の文化施設などにおいて芸術文化事業を実施している。来年度は、音楽、演劇、舞踊などのさまざまなジャンルから、つくば国際音楽祭りの公演など年間24事業を計画している。

『工事請負契約の変更について』 原案可決

変更の理由について

サステナスクエア内の資源化施設の杭工事の際、埋設物に当たり打設できない場所があったため調査した結果、地中埋設物の撤去と排水経路の見直しも必要となり、工法の変更と追加が必要になった。また、地中埋設物については、コンクリート殻や鉄筋殻で埋められた時期は不明である。

つくば市地酒等による乾杯の推進に関する条例を制定いたしました！



つくば市地酒等による乾杯の推進に関する条例

(目的)

第1条 この条例は、本市産の日本酒及びワイン(以下「地酒等」という。)による乾杯を推進することにより、地酒等の普及促進を図り、もって市内産業の活性化に寄与することを目的とする。

(市の役割)

第2条 市は、地酒等による乾杯の推進に必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

(事業者の役割)

第3条 地酒等の生産、販売等に関する事業を行う者(以下「事業者」という。)は、地酒等による乾杯を推進するために主体的に取り組むとともに、市及び他の事業者と相互に協力するよう努めるものとする。

(市民の協力)

第4条 市民は、市及び事業者が行う地酒等による乾杯を推進するための取組に協力するよう努めるものとする。

(嗜好等への配慮)

第5条 市、事業者及び市民は、この条例の施行に当たり、個人の嗜好及び意思を尊重するよう配慮するものとする。

附 則

この条例は、令和2年1月1日から施行する。

令和元年12月定例会において、議員が提案した「つくば市地酒等による乾杯の推進に関する条例」を全会一致で可決しました。

昨年、つくば市内にある稲葉酒造の「すてら」と合資会社浦里酒造店の「霧筑波」が、平成30酒造年度全国新酒鑑評会において「金賞」を受賞しました。

また、本市は、2017年12月に内閣府から構造改革特区「つくばワイン・フルーツ酒特区」の認定を受けており、市内のつくばワイナリー、ビーズ ニーズ ヴィンヤーズ、つくばヴィンヤードにおいても自社農園にて栽培したつくば市産のブドウでワインを製造しております。さらに、つくばワイナリーでは、2019年にワイナリーをオープンし、醸造を開始しています。

市内には、つくば国際会議場があり、大規模な講演会やシンポジウムなども数多く開催されていることから、『つくば市』をPRする絶好の機会と捉えており、この条例を制定することで、市内産業の活性化につなげていくとともに、来訪者に対してのおもてなしにもつながると考えております。



総務

『令和元年度つくば市一般会計補正予算(第3号)』

審査結果Ⅱ可決すべき

質疑 オリンピック事前キャンプ選手送迎業務委託の内容について

答弁 2020年のオリンピックを前に、スイス選手団が日本に到着してからの交通の手配や案内が主な業務で、選手やコーチ合わせて66名を想定している。期間については、7月5日から8月6日までとなっている。

『つくば市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について』

審査結果Ⅱ可決すべき

質疑 給与引き上げ対象年齢について

答弁 30歳代半ばまでの引き上げとなっている。

意見 人事院は、4月の月給ベースに検討しているが、10月の毎月勤労統計調査によると8月の実質賃金は前年比で減少している。議員と職員の給与が上がる理由をきちんと市民に説明するべきである。

『財産の取得の変更について』

審査結果Ⅱ可決すべき

質疑 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車の概要について

答弁 筑波山を管轄する筑波分署へ配置され、2千リットルの水が搭載でき、山岳救助に使用する資機材を装備している。

文教福祉

『令和元年度つくば市一般会計補正予算(第3号)』

審査結果Ⅱ可決すべき

質疑 地域活動支援センター業務委託の内容と利用者などからの要望について

答弁 職員の専門性の確保などから福祉支援センターやたべ・くさぎきについては、障害者を支援することに実績のある社会福祉法人などへの業務委託を予定している。要望としては、福祉的就労としての作業訓練などの実施について再開してほしい旨の要望がある。

質疑 子宮頸がんワクチン接種委託料について副反応の事例の案内はしているのか

答弁 窓口へ予診票を取りに来た方に対して厚生労働省が作成したリーフレットを用いて説明をしており、医療機関にもリーフレットを配付している。

意見 副反応のリスクは他の予防接種と比べても高いものとなっているので、しっかりと市民に説明してほしい。

意見 危険性だけでなく、受ける権利をしっかりと認めてほしい。

質疑 竹園西小学校プール改修事業の補正理由について

答弁 発注前にプールの状況を確認したところ、側面に新たに亀裂を発見したため、増額する。

市民経済

『令和元年度つくば市一般会計補正予算(第3号)』

審査結果Ⅱ可決すべき

質疑 産業振興センター運営業務委託における利用実績について

答弁 コワーキングスペースにおける月額払いの定期利用席は、24席のうち13席に、時間貸し出しの席は、これまでの累計で26人に利用許可を出している。視察や内見、イベント参加者なども含め、11月末時点で約850人が来場している。

質疑 畜産に要する経費の事業内容について

答弁 豚コレラを防止するためにフェンスを設置する費用で、現時点で豚コレラになる原因が不明であることから、ワクチンではなく、野生動物の侵入防止柵を設置する。



つくば市産業振興センター(スタートアップパーク)のコワーキングスペース

都市建設

『令和元年度つくば市一般会計補正予算(第3号)』

審査結果Ⅱ可決すべき

質疑 スマートインターチェンジ整備事業の繰越理由と進捗状況について

答弁 NEXCO(ネクスコ)との協議に時間を要したため発注時期が遅れた。また、進捗については、土地評価、不動産鑑定、補償算定を行っており、その後用地買収を行う計画となっている。

質疑 放置自転車等撤去業務委託の内容について

答弁 つくば市自転車等放置防止条例に基づく自転車等放置禁止区域に放置されている自転車について、定期的に撤去、所有者の確認を行った後、期間をおいて処分している。また、リサイクルできる自転車は自転車商組合に譲渡している。

『つくば市自転車等駐車場条例について』

審査結果Ⅱ可決すべき

質疑 障害者の駐車場料金の免除について

答弁 障害者手帳の交付を受けている方については、手帳を提示することで免除されるが、一時的利用については、提示して免除できるのはシルバー人材センターに委託する第一区画のみで無人の駐輪場では免除できない。ただし、事前に手帳を提示して定期券を発行すれば、免除することができる。

INFORMATION



【つくば市議会ホームページ】
<https://www.city.tsukuba.lg.jp/shisei/shigikai/index.html>

傍聴

つくば市議会議場(市役所6階)で、市議会(本会議・委員会)は簡単な手続きで傍聴できます。ぜひお越しください。

なお、日程は変更になることもありますので、電話またはホームページでご確認ください。

【問い合わせ】

議会事務局議会総務課
 Tel 029-883-1111 (内線 6110・6120・6130)

議会中継・録画放映

上記ホームページから「議会中継」をクリックしてアクセスし、視聴してください。本会議(定例会臨時会)の開催時間であれば生中継をご覧いただけます。また、本会議開催日ごとに3日後(休日を除く)から録画映像を視聴することができます。ぜひご覧ください。※委員会は配信していません。

議会報編集委員

委員長	長塚俊宏
副委員長	木村清隆
委員	山中真弓
委員	小森谷佐弥香
委員	高野文男
委員	黒田健祐
委員	山本美和
委員	須藤光

総務大臣感謝状

この度、市の議会の議員として通算35年以上在籍し、地方自治の発展に顕著な功労が認められことにより、3名の議員が総務大臣から感謝状を受けました。



滝口 隆一 議員



金子 和雄 議員



久保谷 孝夫 議員

市民経済委員会紹介

◆委員長あいさつ

市民経済委員会は市民部と経済部、農業委員会の3つの部局などを所管しております。

市民部関係ではスポーツ、文化・芸術、各地域交流センターなど、市民活動に関わる事業を、そして、経済部関係では商業、農業などの産業に関わる事業、観光関連の事業を、さらに、農業委員会関係では、農地の有効利用推進、担い手育成などの事業を行っており、これらに係る予算や関係する条例の審査を行っております。

今後とも、つくば市の発展のために、皆様の声をしっかりと受け止めて、委員会で議論を尽くし、委員一同頑張つてまいります。

市民経済委員長 黒田 健祐

市民経済委員会委員



- 浜中勝美 委員
- 皆川幸枝 副委員長
- 滝口隆一 委員
- 大久保勝弘 委員
- 黒田健祐 委員長
- ヘイズジョン 委員

PICK UP

市内ワイン用ブドウ生産農家の状況について所管事務調査を行いました!



Bee's Knees Vineyards
ビーズニーズヴィンヤーズ



令和元年8月2日、ワイン生産農家の状況について、所管事務調査を行いました。
市内では農家の高齢化とともに遊休農地が毎年増加しています。一方で、国内のワイン販売量は増加しており、ブドウ栽培での農地の活用や新規就農が期待できるのではないかと考えます。



TSUKBA WINERY
つくばワイナリー



既に、数年前から市内でワイン用ブドウ栽培に取り組んでいる農園があり、3園を視察しました。
つくば市がブドウ栽培に適しているかどうかという議論がある中、3園ともに、欧州種や日本のブドウを工夫しながら栽培し、つくば市の「土壌」や「風土・気候」、「地形」という個性を生かし、日本の食事に合うワインのためのブドウ作りに精を出していらっしゃると思いました。



Tsukuba Vineyard
つくばヴィンヤード



平成29年、つくば市は「つくばワイン・フルーツ酒特区」に認定されました。さらに、昨年、初のワイナリーがオープンしました。今後、ワイン製造とブドウ栽培に注目がしていきたいと思えます。

PICK UP

市内企業の状況について所管事務調査を行いました!



飯島アクアポニクス



令和元年11月12日、市内企業の状況について、所管事務調査を行いました。
まず、飯島アクアポニクスは、チョウザメの養殖と、その養魚水の浄化と植物栽培を同時に行うシステムを開発し、各地から視察が相次いでいます。科学都市つくばとしても実用化を期待したい研究成果です。



(株) 栗原製麺工場



次に、(株)栗原製麺工場は、学校給食用のソフト麺製造と、有名ラーメン店の麺製造などを行う創業100年の地元企業です。伝統の技を生かしながら、最新の衛生管理下で製造・出荷を行う工場に感服しました。
3社目は、ネット通販で有名な(株)ZOZOです。東光台の物流拠点



(株) ZOZO



つくば1は、約1900名の従業員、1日当たり商品出荷は10万件、検品数24万点という数にただ圧倒されました。令和2年秋にはつくば2が開設予定です。
これらの視察を参考に、今後の市の産業振興に生かしていきたいと思えます。